

令和3年度事業報告

☆事業計画は、定款第4条の7つの事業の枠組みで立案

1. 教育等看護の質の向上に関する事業
2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業
3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業
4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業
6. 施設の貸与に関する事業
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

※山形県よりの事業はすべて「山形県委託」と記載
 ※重点事業はゴシック体、事業名(項目)・目標は太字表記

1. 教育等看護の質の向上に関する事業

事業内容	事業実施報告
1) 看護職の継続教育に関する事業【重・3】 (1) 継続教育の充実・強化 ①教育計画の実施・評価	a 教育計画に基づいた研修運営(すでに配布済みの冊子参照) b 研修実施と評価 ア 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修 ・看護実践能力を支援する研修 27/27コース終了 ・自己教育・研究能力を支援する研修 18/19コース終了(1コース中止) イ 診療報酬に関連した研修 5/5コース終了 ウ 看護管理者マネジメントラダーの理解のための研修 2/2コース終了 エ 看護管理者・これからの看護管理を担う人々の力量形成のための研修、特定行為に係る看護師の研修制度の理解と活用 研修 15/13コース終了(中止1 複数開催3) オ 施設内教育充実に向けた研修 6/6コース終了 カ 認定看護管理者育成のための研修 ファーストレベル、サードレベル終了 キ 他団体との共催研修 医療安全やまがたフォーラム 8月21日 公衆衛生学会 令和4年3月3日 ク その他(看護管理者懇談会) 管理者懇談会 5月17日Web開催 ケ 追加研修 3/3コース計画・終了 c 総会要綱内研修実施録の掲載準備 研修後アンケート集計後に実施録を入力する
②教育計画の策定・広報	a 教育プログラム開発能力向上に係る予算化(教育研究開発費) 8月3・4日 日本看護学校協議会学会 2名参加 10月12日 災害看護研修(実務編) 職員2名聴講 b 都道府県看護協会教育担当者会議への出席 会議開催なし c 教育ニーズ調査と情報収集 研修後アンケート、受講生からの聞き取り d 研修企画の調整 感染状況に応じてオンライン研修に変更 e 教育計画に関する懇談会の開催 1月20・21日 1日2回Web開催 36施設参加 f 教育計画の印刷・会員への発送 3月下旬発送 g ホームページ、広報誌へ研修運営の変更や研修の様子を掲載
③看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)活用の推進	a 看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)オンデマンド研修の推進 6月23日 b オンデマンド研修活用による院内教育体制の整備の推進
④行政との連携による看護師等の資質向上	a 山形県委託研修の実施 県委託研修 24/24コース終了
⑤その他	a キャリナースへの登録推進 ポートフォリオの利用促進 b 受講履歴の入力・管理 c 新しい生活様式に関わる研修方法・図書室利用・健康管理の周知 d 研修受講料支払い方法のコンビニ収納の導入
(2) 専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の活動支援	
①継続教育における講師として登用	a 県内の専門看護師1名 認定看護師57名 認定看護管理者5名
②認定看護管理者を委員や演習支援者として活用	a 認定看護管理者教育課程教育運営委員4名 ファーストレベルの演習支援者6名 サードレベルの演習支援者4名

	医療安全管理者養成研修（集合研修）演習支援 1名 職能委員会及び常任委員会 12名 職能委員会及び常任委員会 7名
③専門看護師、認定看護師の委員としての活用	
(3) 小規模施設で働く看護職への学習支援 ①研修の開催と参加者の情報交換の場づくり	a 研修 3/3コース終了 b 介護・福祉・在宅領域で働く看護職への情報提供 県行政より協力を得て老施協・老健協へ郵送による開催案内実施 c 認定看護師等活用事業 出前研修18回実施、集合研修2回実施
(4) 委員会企画の研修のスムーズな運営 ①委員会・事務局との連携	a 委員会の研修運営 31コース終了
(5) 介護・福祉・在宅領域で働く看護職の研修充実 ①委員会、訪問看護ステーション、事務局連携による研修企画	a 訪問看護ステーション管理者研修 2コース 9月9日 参加者42名 11月25日 参加者40名 b 看護師職能委員会Ⅱ 1コース 10月7日 参加者29名 c 在宅ケア推進委員会 1コース 1回目：9月11日 参加者92名 2回目：11月3日 参加者82名 d 医療的ケア児等連携推進委員会 1コース 2月5日 参加者199名 e 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会と公開講座4コース（山形県委託）6月3日～11月16日 受講者14名
(6) 支部と連携した研修運営 ①各地区での研修開催	a 庄内地区での開催 3/3コース終了
(7) 非会員への学習支援 ①令和3年度研修の公開 （非会員の受講受け入れ）	a 県内保健・医療・福祉施設への教育計画送付 b 県内診療所への教育計画送付 c 介護福祉系の会議での研修のPR d ホームページ掲載によるPR 受講者数4931名中非会員262名（5.3%）
(8) 研修環境の整備・充実 ①7日以上長期研修時の開館時間の延長 ②AV機器・パソコン等の定期点検と整備	a 開館時間 8時30分～18時（1時間延長） a 長期研修前のチェック、研修前の準備 b 最新機器の対応に向けての検討、PC管理マニュアル変更 c Web（Zoom）研修を含めた研修運営マニュアルの整備 Zoom機能を最大限に活用、49本をWeb研修で開催
③訪問看護会館研修室の整備と活用	a 定期チェックと研修前の点検・準備 【評価】参加者状況により開催回数を追加、ハイブリッド対応し81コース終了することができた。体調不良者への対応、急遽研修時間の短縮に伴い研修費の見直しを行い、不平等感が生じないように実施。ジェネラリストの研修機会を検討していく。
2) 施設内教育充実を支援する事業【重・3】	
(1) 医療機関院内教育充実への支援 ①教育担当者・責任者研修の充実	a 「継続教育の基準」活用ガイドラインの普及 関連研修会で配布 b 日看協ラダー活用による院内教育体制の整備の推進 c 「オンデマンド」研修活用の推進 看護管理者等への周知
(2) 新人看護職の臨床研修体制の強化 ①新人研修の開催による支援 ②新人育成に携わる担当者研修	a 新人研修 3コース開催 終了 a 実地指導者研修 2コース 終了 b 研修責任者・教育担当者研修 終了 【評価】予定通り実施できアンケート結果からも満足度が高く、実践に活かせる内容だった。新人研修は、コロナ禍による弊害として、臨地実習時間の不足・人間関係構築力の未成熟が懸念されるためメンタルヘルスについて計画していく。
3) 認定看護管理者教育に関する事業【重・3】	
(1) 認定看護管理者教育の推進 ①専任教員を中心とした認定看護管理者教育の実施・評価	a ファーストレベルの運営 19日間 分散研修 8月12日閉講 86名修了 教科目再履修1名 b サードレベルの運営 32日間 分散研修 11月17日閉講 19名修了 c ファースト・サードレベルの公開講座の運営 6コース d 演習の企画と認定看護管理者の活用による運営 e 受講者への学習支援 f 講師等との連絡調整と講義のサポート g 研修運営の評価
②セカンド・サード修了者の実践報告の機会提供	a 認定看護管理者教育課程教育運営委員会企画・運営による看護管理実践報告会の開催 10月23日 演題数18題 参加者104名
③令和3年度研修企画	a ファースト・セカンドレベルの開催要項検討
④認定看護管理者教育課程教育運営委員会のスムーズな運営	a 適正な受講者選考と受講者の修了審査 b 看護管理実践報告会の企画・運営 c 研修の企画・運営の支援 d 専任教員の資質向上のための研修、学会参加は今年度なし
⑤日本看護協会認定部との連携	a 認定看護管理者教育機関申請情報の入力手続き b 積極的な情報収集と専任教員の連携

<p>(2) 看護管理者のスキルアップを支援 ①プログラムの一部を公開</p> <p>②セカンド・サードレベル教育課程修了者実践報告会の開催</p>	<p>a ファーストレベルの公開講座 2コース募集定員：各20名 参加者数：7月9日 38名 8月11日 45名</p> <p>b サードレベルの公開講座 4コース募集定員：各20名 参加者数：9月4日34名 9月18日10名 9月25日27名 11月6日26名</p> <p>a セカンド・サードレベル修了者への実践報告募集（再掲）</p> <p>b 看護管理者への参加呼びかけ</p> <p>【評価】ファーストレベルにおいて教科目再履修者1名。不可抗力で時間が不足した場合は、年度内で再履修できるように検討していく。次年度の公開講座はオンラインとする。</p>
<p>4) 医療安全教育に関する事業</p> <p>(1) 医療安全管理者養成研修の開催 ①医療安全管理者養成研修の実施・評価</p> <p>②令和4年度研修企画</p> <p>(2) 医療安全管理者のスキルアップの支援 ①医療安全スキルアップ研修開催</p> <p>(3) 医療安全推進活動 ①医療・看護安全対策委員会の活動の強化</p> <p>②日本看護協会との連携</p> <p>③関連団体との連携</p>	<p>a 研修の運営 日本看護協会オンデマンド研修+本会集合研修（9月28日）</p> <p>b 受講者の学習支援 9月28日 集合研修終了</p> <p>c 研修運営の評価 ・日本看護協会主催のため受講者情報がなく、進捗状況の把握が出来なかった ・オンデマンド講義未終了者2名に修了書発行不可</p> <p>a 開催要項の検討</p> <p>a 研修会の運営 10月19日 受講者85名</p> <p>a 医療安全スキルアップ研修の企画・運営</p> <p>b 事故防止・再発防止の啓発活動</p> <p>c 「医療安全やまがたフォーラム」の運営協力 8月21日Web配信</p> <p>a 医療安全推進会議への出席 開催なし</p> <p>a 関連会議への参加 6月21日 医療安全やまがたフォーラム実行委員会（書面会議）</p> <p>【評価】eラーニング未終了で集合研修受講不可により研修修了できない事例があった。次年度からは看護管理者に連絡して、進捗状況を確認する。集合研修の出席要件を満して修了できるように支援する。</p>
<p>5) 図書室運営に関する事業</p> <p>(1) 図書・文献サービスの充実 ①図書室の充実 実習指導者講習演習支援講師より関係図書購入依頼</p> <p>②文献検索機能の向上</p>	<p>a 図書・DVDの購入、広報、貸出し</p> <p>b 蔵書点検：不明図書・古書、DVD等の整理と処理 1月24日～28日蔵書点検実施</p> <p>a パソコンによる文献検索の普及 医中誌の契約済 長期研修での文献検索法の活用ガイドを研修室に設置</p> <p>b 蔵書原簿の更新（長期研修前・蔵書点検時）</p> <p>【評価】教育計画の研修プログラムに沿って関連づけた書籍購入し、利用者のニーズに沿ったサービスの提供、環境整備に努めてきた。新書の充実をはかる一方、蔵書点検では古書の整理も実施。より一層、多くの皆様に利用していただけるような図書室運営を目指し取り組んでいく。</p>

2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業

事業内容	事業実施報告
<p>1) 山形県看護研究学会に関する事業【重・3】</p> <p>(1) 山形県看護研究学会の開催 ①学会の企画と運営</p>	<p>a 11月4日（木）開催 Web学会 参加者 154名</p> <p>b 学会委員会と教育研修課による実行委員会開催</p> <p>c 抄録選考の実施 8月3日 応募17題 採択17題</p>
<p>(2) 看護研究の推進</p> <p>①学会委員のスキルアップ</p> <p>②看護研究支援の研修開催</p> <p>③日本看護協会との連携</p>	<p>a 学会への参加 参加なし</p> <p>a 看護研究基礎研修 1コース 6月7日 参加者 75名</p> <p>a 日本看護学会運営委員会への出席 参加なし 第52回日本看護学会学術集会 9月28・29日 幕張メッセWeb開催 11月18・19日 朱鷺メッセWeb開催</p> <p>【評価】山形県看護研究学会初のWeb開催となり研究発表のみとなってしまうが概ね成功であった。次年度は、参加人数が増えるよう、特別講演等の企画を検討していく。</p>

3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業

事業内容	事業実施報告
<p>1) 看護業務に関する事業【重・4】</p> <p>(1) 職能委員会活動の活性化</p> <p>①日本看護協会職能委員会との連携</p>	<p>a 日本看護協会通常総会への出席 6月9日Web参加</p> <p>b 全国職能委員長会議への出席 第1回 7月5日(Web)保委員長出席 7月7日(Web)助・看Ⅱ委員長出席 7月9日(Web)看Ⅰ委員長出席 第2回 3月3日(Web)各職能委員長出席</p> <p>c 地区別職能委員長会への出席(青森県10月22日)Web開催 各職能委員長出席</p> <p>d 調査活動への協力</p> <p>e 日本看護協会職能委員会の事業の推進のための情報発信と山形県看護協会職能委員会での取り組み</p>
<p>②保健師職能委員会活動</p>	<p>a 保健師の力量形成のための現任教育の充実 8月28日「災害&新型コロナへの対応Ⅱ」Web開催 参加者147名 11月13日 保健師交流会 Web開催 参加者26名</p> <p>b 地域包括ケアシステムにおける保健師の役割発揮</p> <p>c 新型コロナウイルス感染症対応状況の共有による保健師活動の強化</p> <p>d 助産師職能との連携推進</p>
<p>③助産師職能委員会活動</p>	<p>a 助産師の力量形成に向けた教育の強化 7月31日「COVID-19が母子支援に与えた影響と対策・課題について語ろう」Web開催 参加者43名 ・助産実践能力習熟段階(CLoCMiP®)の普及・推進に向け研修会開催 10月9日 WHC研修 Web開催 参加者46名</p> <p>b 助産師活用推進事業の推進 助産所の実態調査実施</p> <p>c 母子のための地域包括ケアシステムの推進における助産師の役割発揮</p> <p>d 地域(病院、診療所、市町村保健師、助産院)との連携強化</p> <p>e 保健師職能との連携推進</p> <p>f 新型コロナウイルス感染症についての情報交換と課題の明確化</p>
<p>④看護師職能委員会Ⅰ活動</p>	<p>a 看護師職能を取り巻く現状と課題の明確化と対策の検討 日本看護協会職能委員長会に出席し情報収集と共に、提起された問題や課題について検討 10月8日「身体拘束をしない看護をめざすための工夫」ハイブリッド開催 参加者145名 Googleフォームアンケート集計</p> <p>b 病院看護師の在宅療養支援力と地域につなげる看護の強化</p> <p>c 新型コロナウイルス感染症についての情報交換と課題の明確化 委員会、理事会において情報交換を行った</p>
<p>⑤看護師職能委員会Ⅱ活動</p>	<p>a 高齢者の日常生活援助に関わる看護職としての質の向上 10月9日「安全安楽な移乗と未来を拓くポジショニング」 参加者29名</p> <p>b 地域包括ケアの推進における多職種連携の強化</p> <p>c 地域での看護力強化(看看連携)</p> <p>d 新型コロナウイルス感染症についての情報交換と課題の明確化 感染症対策について研修会へ参加し各施設の情報交換</p>
<p>⑥地域包括ケアシステム構築推進に向けた研修会</p>	<p>a 通常総会後の研修会開催 6月18日 職能合同研修会 Web開催</p>
<p>⑦三職能4委員会に関する情報の発信</p>	<p>a 職能に関する情報収集と情報発信 ・広報誌への「職能だより」の掲載</p> <p>b 山形県健康福祉部との業務推進懇談会への課題提起</p> <p>c 職能委員会間の情報交換</p>
<p>(2) 山形県助産師活用推進事業の展開</p>	<p>a 県内分娩取り扱い医療機関への実態・意向調査 ・医療機関へ調査実施 21施設 ・助産所へのアンケート(助産師職能委員会) 14施設</p> <p>b 助産師実践能力向上に向けた研修会開催 7月13日(火)CLoCMiP®レベルⅢ申請研修 参加者12名 10月9日(土)WHC研修メンタルヘルスケア(Web) 参加者46名</p> <p>c 短期研修の運用 2月25日エンジェル助産院主催 助産院の活動と地域との連携について 3月9日山形県立中央病院産婦人科病棟主催 地域に繋げる産後ケア</p>

	<p>d 協議会の開催 第1回：11月11日 第2回：3月7日</p> <p>e 助産師出向の支援 鶴岡市立荘内病院から産婦人科・小児科三井病院へ出向 出向期間：8月16日～9月10日</p> <p>f 分娩取り扱い医療機関看護管理者等の意見交換会・交流会 9月17日（金）「話し合おう！コロナ禍における周産期医療体制、助産師活用推進事業」（Web）参加者 16施設 29名 2月21日（月）「教えて！周産期医療の現状と助産師出向の実際」（Web）参加者 14施設 31名 【評価】 コロナの影響により内容変更や対策を講じながら、計画に沿って活動実施した。</p>
<p>2) 看護制度に関する事業 【重・3】</p> <p>(1) 准看護師への進学支援及び学習支援</p> <p>①奨学金制度の活用</p> <p>②准看護師への学習支援</p> <p>③准看護師からの進学相談対応</p>	<p>a 広報誌やホームページ等での公募</p> <p>b 山形県看護協会の奨学金授与者の選考・公表 給付者2名</p> <p>c 日本看護協会の奨学金の活用推進</p> <p>a 小規模施設で働く看護職や介護・福祉系施設で働く看護職を対象とした研修の開催 5月25日 准看護師対象研修 コロナのため中止</p> <p>b 認定看護師活用研修の周知と研修運営の検討 【評価】 准看護師の研修参加者数は78名。准看護師会員の約55%にあたるが、非会員の占める割合も多く、准看護師会員の研修参加実態は不明。小規模施設に多くの准看護師が就業しているため、施設対象の研修を増やしていく。</p> <p>a 随時対応</p>
<p>(2) 看護職を目指す中・高校生、社会人への対応</p> <p>①看護職への道をPRする</p>	<p>a ハローワーク等における進路相談 相談件数2名</p> <p>b 中学校・高等学校での出前講座 看護の仕事について4講座（4校）実施 受講者242名</p> <p>c ナースセンターにおける進路相談 相談件数14件</p>
<p>(3) 日本看護協会との連携</p> <p>①全国准看護師問題担当役員会議への出席</p> <p>②日本看護協会通常総会への出席</p>	<p>a 制度改革に伴う情報収集と理事会及び准看護師への情報発信</p> <p>a 制度に関する日本看護協会の動向を知り、准看護師への情報発信</p>
<p>(4) 看護職の教育制度見直しに関する情報発信</p> <p>①日本看護協会との連携</p>	<p>a 日本看護協会からの情報を受け、会員へ情報発信</p> <p>b 必要時、行政へ提言</p>
<p>(5) 特定行為の研修制度法制化の周知</p> <p>①日本看護協会との連携</p>	<p>a 支部研修での会長講話で取り上げる</p> <p>b 看護管理者対象に特定行為研修修了者活用の研修開催 10月18日・25日 Web開催 【評価】 2回Web開催、121名の参加。前年度より参加者増。アンケート結果をもとに参加者が増えるように検討企画していく。</p> <p>c 広報誌等での広報</p>

4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容	事業実施報告
<p>1) 看護職を取り巻く環境改善に関する事業【重・2】</p> <p>(1) 看護職の離職防止及び看護職確保定着事業の推進</p> <p>①令和2年度看護職員就業状況及び実態調査</p> <p>②潜在看護師等復職研修</p>	<p>a 7月 就業状況と労働環境調査実施 対象：県内67病院 回収率：100%</p> <p>b 調査結果を会議で公表</p> <p>c 調査結果をHPで公表 （1月）</p> <p>d データの活用 【評価】 調査結果のまとめに時間を要し、HPへの掲載が遅れてしまった。今後は調査内容を再検討し、調査結果はタイムリーに公表していく。</p> <p>a 募集期間：10月18日～2月18日 申込：9名（2名キャンセル） 受講終了：7名（うち就業者4名、未就業3名） ・対象者を未就業者または今後3ヵ月以内退職等を予定している者で技術習得を必要とする者とし、研修期間を平日3日まで（18時間以内）とした。</p> <p>b eラーニングを活用した未就業者に対する研修開催 受講者71名（うち就業者数48名） 内訳：ワクチン接種関連28名（その後、10名が常勤・非常勤で病院等に就業）</p> <p>c 公式LINEアカウント活用した ナースセンター登録者、届出登録者、ハローワーク相談者への情報提供</p> <p>d 研修・セミナー運営の評価</p>

	<p>【評価】未就業のみを対象としていた実地研修から、今後3ヶ月以内に退職等を予定している看護職にも対象を広げ、3日間まで選択できる受講しやすいスタイルとした。コロナ禍ではあったが、29病院より受け入れの承諾を得て、実施した。次年度は年間を通しての受講とし、受講者から事前に希望する看護技術を聴取し各受講者に合わせた教育プログラムを作成し実施、復職を促す。eラーニングはコロナ禍の研修として満足度が高く、次年度も継続する。</p>
<p>③働き続けられる職場づくりの推進</p>	<p>a 勤務環境改善推進委員会の活動推進 b 勤務環境改善（ワークショップ）の継続 ・医療機関、介護・福祉・在宅領域の施設・事業所への働きかけ c 夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの活用推進 d 看護職のキャリアと連動した賃金モデルの周知 e 短時間正職員制度や多様な勤務形態導入の推進 f 県内病院離職者実態調査の実施と結果の活用（4月実施） g 山形県医療勤務環境改善支援センターとの連携</p>
<p>④医療職のWLB推進ワークショップ参加施設への支援</p>	<p>a 参加施設（3年目）への支援 10月2日（土）医療職のWLB推進ワークショップ開催 参加2病院 参加者数11名 2月26日（土）医療職のWLB推進フォローアップワークショップWeb開催 参加2病院 参加者数65名 ・勤務環境改善推進委員会による支援活動 b 山形県勤務環境改善支援センターとの連携 日本医業経営コンサルタント協会 山形県社会保険労務士会の支援 c 行政・労働局との連携</p>
<p>⑤看護師等職場説明会・看護学校説明会開催</p>	<p>a 12月25日（土）・26日（日）Web開催 参加病院44病院 参加者数104名 b 教育機関による進路説明会の開催 ふれあい看護体験代替事業「オンライン看護学校等進学説明会」 5月16日（日）参加者数180名 参加学校等数7校</p>
<p>⑥日本看護協会、関係団体、行政との連携強化</p>	<p>a 都道府県看護協会看護労働担当者会議への出席 5月19日（水）（Web開催） b ナースセンター事業担当者会議への出席 5月21日（金）（Web開催） c 「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」への参画 d 県の修学資金の利用促進 e 「もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会」への参画 f 日本看護協会オンデマンド配信研修活用の推進 g 日本看護協会「労働と看護の質向上のためのデータベース事業D i N Q L」活用推進 h 都道府県ナースセンター地区別意見交換会への出席 9月6日（月）（Web開催） i 山形県健康福祉部との業務推進懇談会へ課題提起 j 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務 ・ワクチン接種業務に関する研修の企画・運営および受講の支援 ワクチン接種研修会等 15回開催 参加者数110名 ・潜在看護職等のワクチン接種業務への就業支援 ・就業準備金支給申請に関する支給対象者への必要な支援 申請書発行者数988名 k 地域に必要な看護職確保推進事業 ・ワーキンググループの開催 11月18日（木） ・働く看護職のセカンドキャリア仕事相談会の開催 米沢市立病院にて2回実施 相談者数9名 ・「置賜の地域医療を住民とともに考える」セミナー 12月16日（木）グランドホクヨウ米沢 ハイブリット開催 参加者数51名（来場者数18名、Zoom参加数33名） ・セカンドキャリア研修会 3月5日（土） Web開催 参加者数13名 ・山形いぶき155・156号に求人施設アンケート・セカンドキャリアアンケート結果掲載 ・置賜地域医療機関等173施設に、令和2年度実施の求人施設アンケート結果とナースセンター求人登録案内を郵送</p> <p>【評価】コロナ禍においてワクチン接種人材確保業務（研修等の開催、就業支援、就業準備金申請支援等）を進めることができた。地域に必要な看護職確保推進事業は、昨年の調査を基に、今年度はセカンドキャリア仕事相談会や住民向けのセミナーなど新しい試みを実施できた。地域に必要な看護職確保を推進するためには看護管理者との情報共有、協力が必要であることがわかった。</p>

<p>(2) ナースセンター事業運営の強化 ① ナースセンター事業の充実</p>	<p>a 求職・求人相談の充実 Zoomを活用したオンライン就業相談の導入・実施</p> <p>b 離職者のナースセンター届出制度の周知と代行登録の推進 ・届出登録者への情報提供と復職支援の充実</p> <p>c 相談件数、再就業率のアップ ・事業の成果の可視化とデータの活用</p> <p>d 「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成</p>
<p>② 看護職員就業支援事業</p>	<p>a 施設訪問による求人登録の増加対策（地域相談員の活用） ・地域相談員による求人施設訪問</p> <p>b NCCSシステムの周知と普及活動</p> <p>c ハローワークとの連携継続の強化 ・定期的な連携会議の開催</p> <p>d 相談件数、再就業率のアップ ・事業の成果の可視化とデータの活用 ・相談件数12,990件（昨年度同時期比+2,153件） 求人登録者件数2,743件（ 〃 +597件） ・求職登録者件数1,864件（ 〃 +1,165件） ・コロナ関連業務を除いた就業者数311名 ・新型コロナワクチン接種にかかる就業準備金申請のための ナースセンター代理登録 838件</p> <p>e 県内各地域でUターンによる就業相談 ・U・Iターン相談者：33名 相談件数：98件 ・県外看護師等学校養成所とのオンライン面談実施 実施日：11月22、24、26日 12月3日 実施校：5校（岩手医科大学・秋田看護福祉大学・仁愛看護福祉専門学校・晃陽看護栄養専門学校・東北大学医学部保健学科） ・くらすべ山形！移住・交流フェア（Web参加）11月28日（日） 相談者2名</p> <p>【評価】 コロナ関連業務の周知やワクチン就業準備金の対応により、相談件数・求職登録件数の増加がみられた。ワクチン接種業務を含めたコロナ関連業務に一時的に就業した方が大変多く、今後潜在化しないように定期的な情報発信をし、就業につなげる。県外看護師等学校養成所の就職担当者等への訪問（Web）で実際のUターン就業者にどんな魅力を感じてUターンしたのか聞いてみてはどうかという意見を基に、Uターン就業者へのアンケート調査を行い、今後Uターン就業者や看護学生へのアプローチへと変えていく必要がある。</p> <p>f 離職者の実態調査とデータの活用</p>
<p>③ 看護業務啓発促進事業</p>	<p>a 「ふれあい看護体験」若年層と保護者等対象に看護の日に合わせた講義型の看護職啓発セミナーと高校生対象のZoomによる職業講話 ・5月16日（日）「オンライン看護学校等進学説明会」（Web開催） 県より修学資金の説明 参加申込者数 180名（中・高校生・保護者・教員） 参加学校等 7校 事業課作成 「ナイチンゲールの歴史と功績」の動画上映</p> <p>【評価】 対面でのイベント開催が難しい中でのオンライン開催となった。アンケート結果からも満足度が高かったが、個別相談や、資料を希望する参加者も多かったため、次年度の開催はハイブリッド形式の開催を検討していく。</p> <p>・11月13日（土） 12月16日（土） 計4回「看護への道セミナー」（Web開催） 現役看護職による職業講話、質疑応答 参加申込者数：129名（高校生：122名、中学生：7名）</p> <p>【評価】 ふれあい看護体験の代替事業として実施したが、若年層のスマートフォン等普及によりZoomの接続やGoogleフォームを使用した個人申込等がスムーズで、満足度が高かった。 Eメールの利用率が低いため、若年層が申込しやすい方法を検討する。</p> <p>b 「看護の出前授業」の実施（通年で実施） 39講座（32校） 受講者3,206名 いのちの教育：35講座（28校） 受講者2,964名 看護の仕事：4講座（4校） 受講者242名 コロナ感染拡大の影響にて5講座中止</p>

	<p>c 「看護の日・看護週間」のイベント「看護フェア」の開催 ・ナイチンゲールの紹介（5月16日の看護学校等進学説明会時） ・新聞への「看護の日」会長コラムの掲載 ・医療職への応援メッセージの募集とホームページ等への掲載 【評価】 コロナ禍ではあるが、ほぼ例年通りの「出前授業」の申込数があった。感染拡大防止対策をとりながら実施した。オンライン活用も3講座あった。「看護フェア」では、420名の方より看護職への応援メッセージが寄せられた。ホームページ掲載・協会内掲示し、多くの看護職へ届けた。</p>
<p>④潜在看護師掘り起こし事業</p>	<p>a マスコミ等のメディアを活用したナースセンター登録に関する情報発信（ホームページ更新、LINE公式アカウントによる情報発信） ・就職ガイドブック作成800部 病院・職場説明会等で配布 ・広報のためのバス広告 一般路線バス後部ステッカー5台6ヶ月 ・地域みっちゃん生活情報誌「やまはび2月号」への広告掲載</p> <p>b ナースセンター登録者への情報発信と復職相談への対応 e ナースセンター・とどけるん登録者へのEメール配信、LINE登録者への情報発信</p> <p>c プラチナナース研修会の開催 10月19日（火） 軽症者等宿泊療養施設での働き方説明会 参加者数21名</p>
<p>⑤ナースセンター利用促進事業</p>	<p>a 県内8カ所のハローワークでの「看護の仕事相談会」の開催 相談者数149名 まん延防止等重点措置の発令により、4・5・8・9・2月に一部開催中止とし、前年度相談者数180名を下回る人数となった。</p> <p>b 「マザーズジョブサポート山形」、「マザーズジョブサポート庄内」での就業相談会の開催 相談者数17名 まん延防止等重点措置の発令により、5・8・9・2月に一部開催中止とし、前年度相談者数28名を下回る人数となった。</p> <p>c 地域相談員によるハローワークでの相談強化</p> <p>d ハローワークやまがたとの連携強化</p> <p>e 施設訪問によるナースセンター事業の周知活動とナースセンターリーフレット等送付 県内10医師会780部 県内35市町村各5部 【評価】 電話や訪問をした40施設のうち、33施設で求人登録あり。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、求人施設等への施設訪問・施設見学会の実施が困難であったが、地域相談員によるハローワークインターネットサービスを活用した電話訪問を中心に実施し、新規求人開拓や既登録求人施設の再登録につながった。しかし、求人登録にはつながったものの、その中での就業者数が1名と少なく、求人施設の魅力発信を継続しておこなっていく必要がある。</p>
<p>⑥ナースセンターの運営に関すること</p>	<p>a ナースセンター運営委員会の開催 8月19日（木）（Web開催） 3月10日（木）（書面開催）</p> <p>b 事業報告書の作成と送付 300部作成し、関係機関に送付</p> <p>c ナースセンターだよりの発行（求人情報一覧含む） 3回</p>
<p>⑦行政、関係機関との連携強化</p>	<p>a 山形県健康福祉部医療政策課との連携 「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成</p> <p>b 「山形県医療勤務環境改善支援センター」との連携 ・WLB推進ワークショップ参加2施設（3年目）への支援</p> <p>c 山形労働局との協力体制の構築 ・連携によるハローワークやまがたでの「看護の仕事相談会」の利用者拡大、就業支援の強化、4月26日（月）ナースセンター・ハローワーク連絡調整会議出席 ・「医療労務管理相談コーナー」活用の周知 ・「WECやまがた（福祉人材確保対策担当者連絡協議会）」への参加 福祉のしごとフェア（新庄10月13日（水）、山形11月16日（火）、米沢11月12日（金））</p>
<p>(3) 看護職の健康増進 ①看護職のメンタルサポート</p>	<p>a 相談窓口の周知・広報</p> <p>b 実績評価</p> <p>c 相談員のスキルアップ ・日本看護サミット2021 オンライン視聴 2月4日（金） ・職業紹介責任者講習会への参加 6月24日（木）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・退職予定者のためのセカンドライフセミナー聴講 10月31日（日）、11月7日（日） ・都道府県ナースセンターキャリアコンサルティング研修 （オンライン視聴）
(4) 「看護職賠償責任保険制度」の普及 ①会員への「看護職賠償責任保険制度」の周知	a 加入の促進
2) 県民の健康・福祉の増進に関する事業【重・6】 1) 県民の健康づくり支援 ①県民への相談事業「まちの保健室」の開催	<p>【評価】 コロナの影響により、中止や内容変更など対策を講じながら実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> a 「まちの保健室」推進委員会活動の推進 b 支部、常任委員会「まちの保健室」推進委員会との連携 ・委員会で支部の「まちの保健室」活動についての情報収集（10月） ・委員会と支部運営委員との合同委員会の開催 中止 c 「まちの保健室」開催要綱、運営マニュアルの見直し d ボランティア運用要綱の周知と登録者拡大 e 支部の「まちの保健室」の常設化の検討 地域住民を対象とした常設型「まちの保健室」の開催 健康に関するポスターや資料の展示 f 子どもと子育て世代を対象とした「まちの保健室」開催 山形支部による常設型「まちの保健室」開催 健康に関するポスターや資料の展示 g 他団体、事業所からの依頼の「まちの保健室」開催への対応 山形新聞・山形放送 8大事業「県民健康講座」での「まちの保健室」開催 手洗い評価・指導実施 7月8日 新庄市 参加者25名 10月14日 山形市 参加者47名 3月3日 南陽市延期 h 関連団体との共催 「まちの保健室」連絡協議会の開催 中止
②看護に関するイベント事業	a 「看護の日」イベント「看護フェア」の開催（再掲）
③医療安全フォーラム	a 「医療安全やまがたフォーラム」への参画 8月21日 Web開催（再掲）
④次世代育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> a やまがた子育て応援サイトメール相談業務（山形県委託） 相談件数：48件 b いのちの教育・性の健康教育講師派遣 35講座（28校）、受講者2,964名 コロナ感染拡大の影響で5講座中止 c いのちの教育・性の健康教育実践者の育成 ・いのちの教育・性の健康に関する研修の開催 10月30日実施 参加者12名 ・「性の健康支援ネットワーク 活動指針」の活用 d 性の健康支援ネットワーク会員登録者の増員（新規登録者2名） e 山形市男女共同参画推進担当との連携
⑤電話相談事業	<ul style="list-style-type: none"> a 健康相談 b 自殺対策 c 青少年関係
⑥県民及び看護職の禁煙推進活動【重・3】	<ul style="list-style-type: none"> a 山形県四師会と共催による禁煙活動事業の開催 12月11日 禁煙指導研修会参加 b 関係機関との連携 Web会議1回開催あり出席 c 受動喫煙防止宣言の普及 チラシ配布・協会内掲示
2) 新興感染症等のパンデミックへの対応体制の整備	
①新型コロナウイルスに関する妊産婦等相談	a やまがた子育て応援サイトメール相談業務（山形県委託）（再掲）
②新型コロナウイルス感染症拡大に係る実態調査	a 県内67病院、35市町村、76訪問看護ステーションへ実態調査実施
③新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設健康管理 ・相談等事業へ看護職派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> a 宿泊療養施設へ看護師派遣事業の運営（山形県委託） ・村山地域（天童）、庄内地域（酒田）の2施設 4月1日～3月31日 村山地域：稼働日数203日 入所者数898名 応援ナース延376名 庄内地域：稼働日数89日 入所者数245名 応援ナース延130名 ・置賜地域（米沢）の1施設 11月1日～3月3日 稼働日数44日 入所者数43名 応援ナース延47名

	<p>b 療養応援ナースの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 療養応援ナースの採用、勤務表作成、教育、研修、派遣 村山地域応援ナース8月1名、9月2名退職 9月28日 新規採用オリエンテーション、説明会、研修会実施 村山地域採用者1名、庄内地域採用者1名 11月11日 新たな宿泊施設見学、オリエンテーション実施 庄内地域新規採用4名及び経験者2名 11月16日 宿泊施設見学、オリエンテーション実施 置賜地域新規採用者3名
<p>④新型コロナウイルス感染症対応のための看護職員の応援派遣</p>	<p>a 看護職員の県内応援派遣に係る調整業務（山形県委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生事例に関する対策Web会議14回参加 調整本部Web会議2回参加 看護管理者への事業説明会開催 5月17日 参加者94名 感染対策応援派遣ナース育成研修開催 第1回：7月28日 参加者37名 第2回：9月6日 参加者59名 感染症対策応援派遣ナースの派遣調整 4月 感染拡大地域の保健所へ看護協会職員延べ22名14日間派遣 4月 村山地域の病院へ看護師2名延べ19日間派遣 5月 村山地域の福祉施設へ看護師2名延べ14日間派遣 1月 庄内地域の福祉施設へ看護師4名延べ6日間派遣 <p>b 広域人材調整事業（日本看護協会委託）</p> <p>1～2月 沖縄県の宿泊療養施設へ看護師3名延べ56日間派遣</p> <p>c 山形市保健所への協会職員応援2～3月 31日間延べ43名</p>
<p>⑤新型コロナウイルスワクチン接種看護師派遣</p>	<p>a 山形市新型コロナウイルスワクチン接種に係る集団接種業務（山形市委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護師 55名採用 接種会場：山形ビッグウイング 1回目6月15日～6月28日 接種人数29,239名 看護師延329名 2回目7月6日～7月19日 接種人数20,943名 看護師延331名 接種会場：山形市総合スポーツセンター 3回目2月27日～3月11日 接種人数32,617名 看護師延235名 接種会場：山形市保健所、公民館等3ヶ所 1回目7月27日～9月6日 接種人数35,143名 看護師延1,239名 2回目10月26日～11月29日 接種人数9,605名 看護師延530名 3回目3月13日～3月31日 接種人数12,543名 看護師延405名 接種会場：山形市保健所 9月14日～10月25日 接種人数8,718名 看護師延376名 12月22・23日、1月12・13日 接種人数1,078名 看護師延40名 1月22・23・29・30日 } 接種人数2,459名 看護師延80名 2月12・13・19・20日 } 3月12日 接種人数540名 看護師延9名 <p>b 山形県新型コロナワクチン接種事業への協力</p> <p>山形県庁8月7日～9月26日（12日間） 病院勤務看護師延72名派遣</p>
<p>⑥新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材（IHEAT）の運用</p>	<p>a 山形県IHEAT登録システム運用業務</p> <p>契約期間：9月24日～3月31日</p> <p>業務内容：システム登録者へのメルマガ配信、研修申込確認、受講承認、受講履歴確認、研修プログラム作成、研修会運営、研修謝金振込、保健所応援要請への調整</p> <p>山形県IHEAT登録者集合研修：11月27日（土）開催</p> <p>修了者14名</p> <p>b 県内各保健所の応援要請へのIHEAT登録者調整：1月7日～</p> <p>村山保健所：4名 最上保健所：2名 庄内保健所：2名</p> <p>置賜保健所：4名 山形市保健所：7名</p> <p>県立保健医療大学より村山保健所・山形市保健所に応援（調整は大学が実施）</p>
<p>⑦東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へのメディカルスタッフの協力（日看協より協力依頼）</p>	<p>a メディカルスタッフに3名の候補者があったが、競技大会の無観客開催などにより実際の協力に至らず</p>
<p>(3) 災害支援体制の整備</p> <p>①山形県看護協会災害支援体制の整備・周知</p>	<p>a 災害支援活動要綱・災害支援ナース必携マニュアルの見直し・検討</p> <p>b 災害支援体制の周知</p> <p>c 災害支援物資の備蓄と管理</p> <p>d 事務局災害対応マニュアルの作成</p>

②災害支援ナース育成の強化	<ul style="list-style-type: none"> a 災害看護対策委員のスキルアップ 災害支援ナース指導者研修への出席 2月17～18日（Web） 2名出席 b 災害支援ナースのスキルアップ研修の開催（2回） 災害看護実務編 10月12日 受講者27名 災害支援ナースフォローアップ研修 11月10日 c 支援ナース連絡体制の模擬訓練の実施 11月9～11日 災害支援ナース18名より派遣可能の意思表示あり うち11名派遣 d 山形県市町村合同総合防災訓練（鶴岡市）への参加（9月12日） 開催中止
③看護職の災害看護の意識高揚	<ul style="list-style-type: none"> a 災害看護の基礎知識の普及DVD研修 6月8・9日 受講者29名 b 支援ナース登録者の拡大 新規登録者12名 合計90名 c 「山形県看護研究学会」で災害支援活動や支援ナースPR展示
④県民に対する防災意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> a 災害時の対応、災害支援活動等の館内への展示
⑤災害看護支援体制のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> a 日本看護協会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・災害看護対策担当者会議への出席 12月16日（Web） ・災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加 11月9～11日（再掲） b 県内医療関係団体連携による支援活動の検討 c 行政等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・関連会議・研修会への出席 ・山形県・鶴岡市合同総合防災訓練への参加 開催中止 ・山形市防災訓練への参加 <p>【評価】 コロナ禍に伴い中止となる訓練もあったが概ね計画通り実施した。日看協の流れを考慮しながら、災害支援要綱、災害支援ナース必携マニュアルの見直しを行っている。</p>
3) 東日本大震災支援活動	
①被災看護職への支援	<ul style="list-style-type: none"> a 研修受講の受け入れ b 避難地域の就業支援 c 県内避難の看護職の入会負担金免除
②県内避難者の心のケア事業 (福島県委託事業)	<ul style="list-style-type: none"> a 山形市、米沢市における「まちの保健室」の開催 11月25日山形市 12月21日米沢市で開催 b 各市町村避難者支援担当と連携した「まちの保健室」の開催 c 各市町村の避難者支援担当と連携し、戸別訪問につなげる 11月17日、12月15日 鶴岡市社会生活相談員と共に同行訪問 d 支援者へ避難情報等の発信 2月17日研修会開催（Web） 「福島原発災害による心理的社会的影響～現状と課題～」 参加者33名
③県内避難者支援ネットワーク関連	<ul style="list-style-type: none"> a 県内避難者支援ネットワーク会議とイベントへの参加 <ul style="list-style-type: none"> ・「今後の暮らし応援のつどい」 実行委員会：5月28日 8月5日（Web） 「まちの保健室」：7月3日山形 7月4日米沢 参加者合計20名 ・避難者支援協働ネットワーク意見交換会 10月6日（Web） ・東日本大震災追悼・復興祈念事業 実行委員会：12月23日、2月16日、3月1日（Web） キャンドルナイト：3月11日参加 b 「避難者生活相談支援事業」被災者生活支援調整会議（Web） 6月10日、8月25日、11月25日、2月25日 c 行政、関係団体との連携 <p>【評価】 県や社会福祉協議会と連携し実施した。</p>

5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業

事業内容	事業実施報告
1) 協会訪問看護ステーション・居宅介護支援事業【重・1】 (1) 協会訪問看護ステーション事業の健全経営 ①協会訪問看護ステーションの経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> a 協会訪問看護ステーション運営会議の定期開催（月1回）Web実施 b 経営的視点に立った訪問看護ステーションの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・業務、実績の見える化と評価(管理者・職員) ・地域住民への訪問看護実践のPR（STやまがた地域住民に実施） c 円滑な運営のための管理者のマネジメント力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション管理者研修の受講（各ST所長、主任2回受講） ・所長会議での経営に関する情報交換（月1回） d 公益事業の強化と地域密着事業の展開

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズに合わせた活動の充実 ・多職種連携の推進 ・訪問看護ステーション新庄のサテライトまむろ川安定的経営 ・「看取り研修」への講師派遣 ・「訪問看護相談窓口」の設置（山形県委託）相談件数240件 e 機能強化型訪問看護ステーション（ⅠⅡ）の役割發揮 ・訪問看護ステーションやまがた・むらやまの強化 f 計画的な人材育成の仕組みづくり ・看護ラダー（訪問看護編）整備活用 g 理事会への事業運営報告 <p>【評価】 1人当たり約748,000円/月の収益があり、経営基盤は安定している</p>
② 4つの協会訪問看護ステーションの運営の組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> a 所長会議の開催（月1回）月1回実施 b 各種委員会活動の活性化（実習指導、医療安全） c 諸規程や行動規範の周知徹底 d 目標管理の定着化 e 職場の雰囲気づくり 5S運動の展開 f 人事交流
③ 業務の効率化と看護の質向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> a 研修の企画と充実 b 訪問看護eラーニング受講 OJTシートの活用
④ 県全体訪問看護サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> a 山形県訪問看護総合支援センターでの事業展開 訪問看護実態把握調査2月実施 b 安全管理の強化
<p>(2) 協会居宅介護支援事業の充実（3か所）（事務職員の専従化）</p> <p>① 安定した事業経営、基盤の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> a 居宅介護支援事業所連絡会議の開催（年2回程度）10月11日・3月10日開催 b 経営的視点に立った居宅介護支援事業所の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援特定事業所Ⅲとしての役割發揮 ・現状分析による課題検討 ・令和2年度特定事業所Ⅳ目指しての検討 c 市の認定調査委託契約の継続
② 質の高いケアマネジメントの提供	<ul style="list-style-type: none"> a 積極的なスキルアップ b 事業所間での事例検討会、勉強会の開催 c 他の事業所との情報交換
③ 関係機関、関係職種との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> a 関係機関との会議、研修会への積極的参加 b 山形県介護専門員協会との連携 c 認知症カフェの支援 d ポピーネットやまがたへ参画しMCS活用した多職種連携強化
<p>(3) 県内の訪問看護の拠点としての「訪問看護会館」の積極的な活用</p> <p>① 山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> a 山形県訪問看護ステーション連絡協議会 連絡を担当 b 事務局業務のサポート c 県民への訪問看護のPR
② 「訪問看護会館」の貸出による地域貢献の拡大	<ul style="list-style-type: none"> a 「訪問看護会館」の積極的な活用による県内の訪問看護師の資質向上やネットワーク構築の機会の拡大
<p>2) 在宅ケア等に関する事業【重・1】</p> <p>(1) 地域包括ケアシステムの推進</p> <p>① 地域包括ケアにおける看護職の役割・機能の周知・普及</p>	<ul style="list-style-type: none"> a 地域包括ケアシステム構築推進の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・研修会、県内病院看護管理者懇談会の開催 ・退院支援・地域連携の推進 b 保健師、助産師、看護師Ⅰ、看護師Ⅱ、在宅ケア推進委員会の連携 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムにおける看護の役割 地域につなぐ看護研修 ・地域と施設の看護職のネットワーク構築 c 支部活動の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・合同委員会時の支部長会へ副支部長出席（7月中止・2月14日Web会議） ・地域の在宅医療推進協議会（地域医療構想調整会議）への支部長の出席と発言（オブザーバーとの連携） ・地域の会議内容の共有と意見交換 d 地域における看護管理者のネットワーク構築 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の看護力強化支援事業」の実施（6か所実施） ・地域単位での多職種連携の強化 e 母子的ための安心安全な地域ケアの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児等の体制整備等の会議出席 ・医療的ケア児等の研修会の開催 2月5日 受講者199名

<p>(2) 訪問看護サービスの普及と質の向上</p> <p>①訪問看護の普及活動</p>	<p>a 県民に向けたPR活動 県民健康講座で訪問看護のパンフレット配布 (222部)</p> <p>b 訪問看護普及のための連携の強化 パンフレット活用によるPR ケアマネージャーとの連携</p> <p>c 看護学生に向けたPR活動 職場説明会・看護学校訪問</p> <p>d 他の職種へのPRと連携</p> <p>e 「まちの保健室」を活用したPR活動 (健康フェア等)</p> <p>f 山形県内の関連会議への出席</p> <p>g 山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携 合同会議開催</p>
<p>②訪問看護サービスの質の向上</p>	<p>a 訪問看護師養成講習会の開催 (県委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eラーニング活用の研修 6月3日～11月16日 受講者14名 ・集合研修の公開 公開講座 4コース開催 <p>b 研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション管理者研修 2回シリーズ 1回目: 9月9日 参加者41名 2回目: 11月25日 受講者40名 <p>d 訪問看護師への教育計画の周知と研修受講の推進</p> <p>e 蔵王会在宅医療・看護教育センター事業への協力</p> <p>f 訪問看護サミットへの参加 11月6日 Web参加</p> <p>g 行政との連携</p>
<p>③山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携強化</p>	<p>a 訪問看護会館に事務局の設置とサポート</p> <p>b 総会・研修開催等への協力</p> <p>c 地区ブロック内ネットワークの推進 (ブロック会議) 技術研修会開催</p> <p>ブロック会議 10月22・28・29日 11月5日</p> <p>技術研修1回目: 12月18日 受講者63名</p> <p>2回目: 1月22日 参加者72名</p>
<p>④訪問看護サービス事業所支援事業 (山形県委託)</p>	<p>a 訪問看護総合相談窓口 平均22件/月</p> <p>b 管理者研修と経営安定化対策</p> <p>管理者研修: 9月9日 受講者41名 11月25日 受講者40名</p> <p>経営安定化研修: 8月19日 参加者39名 12月16日 受講者39名</p> <p>c 各地域の訪問看護ステーションの連携強化</p> <p>ブロック会議 技術研修</p> <p>d 小児医療・フィジカルアセスメント等の技術向上研修会の開催</p> <p>e 専門看護師 認定看護師派遣研修事業 20か所 3か所実施</p> <p>f 訪問看護普及啓発事業</p>
<p>⑤訪問看護担い手創出事業の展開 (短期体験型研修実施支援)</p>	<p>a 入門コース (1日体験研修) 40名 26名申込/18名終了</p> <p>b 実践コース (2日～5日間体験研修) 20名 5名申込/4名終了</p> <p>c 担い手事業成果発表 書面発表</p> <p>d 行政との連携</p> <p>【評価】 訪問看護総合支援センターを開所し、訪問看護に係る事業を総合的一元的に取り組める体制ができた。支援センターの4つの目的に沿って事業を実施した。専門看護師、認定看護師派遣研修事業の申し込みが予想より少なく次年度の課題である。</p>

6. 施設の貸与に関する事業

事業内容	事業実施報告
<p>1) 施設運営に関する事業</p> <p>(1) 施設の賃貸運営</p> <p>①会館、研修センターの賃貸契約及び貸出</p>	<p>a 事務所としての賃貸契約先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本精神科看護協会山形県支部 <p>b 研修室の外部貸出 4事業所 4件</p> <p>c 自動販売機設置 2・3階</p>
<p>②駐車場の貸出</p>	<p>a 看護協会駐車場の貸出 1事業所 1件</p>
<p>③「訪問看護会館」の貸出</p>	<p>a 研修室、会議室の積極的な貸出</p>

7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

事業内容	事業実施報告
<p>1) 組織に関する事業</p> <p>(1) 協会組織の強化</p> <p>①公益社団法人の円滑な運営</p>	<p>a 定款の遵守</p> <p>【評価】 今年度、会員拡大委員会がなくなり、各種研修や委員会も集合からWebへ転換したことにより、広報活動の展開が狭まりPRの機会も減少。今後いかに新入会員を増加させ、組織強化につなげていくかが課題である。</p>
<p>②協会事業組織の検討</p>	<p>a 委員会の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別委員会「医療的ケア児等連携推進委員会」の設置 <p>b 各種パンフレットの見直し・作成と活用</p> <p>c 事務局の役割強化</p>

<p>③支部活動の活性化</p>	<p>a 支部運営の強化 ・支部担当執行理事のサポート体制構築 ・支部規則、本協会との確認事項の周知と徹底 ・支部活動の効率化 ・地域密着の活動推進</p> <p>b 支部長・副支部長会議の開催 2回開催：7月26日（支部長会）中止 2月14日（職能・常任・特別・推薦委員会との合同委員会）Web</p> <p>c 支部運営の情報交換 ・副支部長の参加（合同委員会時）7月中止・2月14日Web会議 ・支部長の地域内会議への出席 ・会議内容の共有 理事会等での復命の実施</p> <p>d 地域内の看護職ネットワーク構築 ・看護管理者会議、職能間の連携会議等 4地域で6団体が活動 ・看護管理者懇談会の開催と支部長の出席 5月17日Web 参加者94名</p> <p>e 「教育委員会」の企画による研修会の開催</p> <p>f 「まちの保健室」運営委員会企画による「まちの保健室」開催 ・常任委員会「まちの保健室」推進委員会との連携 ・開催要項、運営マニュアルの活用と見直し ・ボランティアの育成と活用 ・地域密着型の「まちの保健室」の推進</p> <p>g 日本看護協会通常総会への一般参加者派遣 縮小・Web開催 派遣なし</p>
<p>④会員拡大対策の強化</p>	<p>a 新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導 b 協会事業のPRによる会員拡大 c 各職能委員会による会員拡大の呼びかけ d 施設訪問による会員拡大の呼びかけ</p>
<p>(2) 会員意識の高揚と会員拡大 ①会員拡大への働きかけ</p>	<p>a 新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導 b 施設未入会者への働きかけ（パンフレット・入会案内チラシの活用及び送付） c 事業案内パンフレット・教育計画等の送付 d ホームページでの広報</p>
<p>②看護学生への働きかけ</p>	<p>a 看護教育機関への働きかけ（パンフレットの活用及び送付） b 職能団体活動の講話等 4校実施（内3校Web実施） c 入学式、戴帽式 入学式：祝電7校 戴帽式：出席1校 祝電5校 d 卒業式等への出席 出席1校 祝電7校</p>
<p>③新会員情報管理システム（ナースシップ）の運用</p>	<p>a 日本看護協会との契約締結・維持 b 会員登録システム変更の周知 c ナースシップシステムによる会員管理 d 会員専用Webページ「キャリアナース」への登録推進 e 退会届の周知</p>
<p>2) 組織の運営に関する事業 (1) 組織運営の円滑化 ①総会開催 ②役員等の推薦</p>	<p>a 総会運営規則に則った総会運営 b 総会要綱作成 1500部 c 選挙規則に則った役員改選 a 改選役員等候補者の推薦 委員会4回開催</p>
<p>(2) 組織運営に関する ①総会 ②理事会 ③常務理事会</p>	<p>a 年1回 6月18日（金） 通常総会（規模縮小） a 理事会 例年通り9回開催（内Web開催6回、書面1回） a 常務理事会 1回開催 10月15日（Web開催）</p>
<p>④職能・常任・認定・推薦委員会及び支部長会との合同委員会</p>	<p>a 年2回（7月・1月） 7月中止 2月Web開催 ・活動計画と実施評価の徹底 ・活動状況の共有</p>
<p>⑤各職能・常任・認定看護管理者教育運営委員会</p>	<p>a 諮問審議事項の提示と活動支援</p>
<p>(3) 日本看護協会との連携①日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会</p>	<p>a 年1回（6月9・10日） 代議員派遣中止<千葉幕張メッセ> b 各支部の一般参加への支援 中止 c 代議員・予備代議員研修会 5月24日Web開催</p>
<p>②日本看護協会理事会</p>	<p>a 年6回開催 会長出席 5月7日（Web） 6月9日（Web） 7月29日（Web） 9月17日（Web） 11月25・26日 2月24・25日（Web）</p>
<p>③法人会会員</p>	<p>a 年6回開催 会長出席 5月7日（Web） 6月4日（Web） 7月30日（Web） 9月17日（Web） 11月26日 2月25日（Web）</p>

④都道府県看護協会職能委員長会	a 年2回 第1回 (Web) 7月5日 保 7月7日 助・看Ⅱ 7月9日 看Ⅰ 各委員長出席 第2回 (Web) 3月3日 各委員長出席
⑤地区別法人会及び職能委員長会	a 年1回 10月21・22日 (青森県看護協会担当) 地区別法人会：会長・常任理事1名出席 職能委員長会：Web開催 各委員長出席
⑥都道府県看護協会政策責任者会議	a 年1回 9月16日Web開催 会長・常任理事1名出席
⑦訪問看護サミット	a 年1回 11月6日Web配信 会長・常任理事1名出席
⑧日本看護サミット	a 年1回 2月4日Web開催 会長出席
⑨都道府県看護協会看護労働担当者会議	a 年1回 5月19日Web開催 常任理事1名・ナースセンター課長出席
⑩公益法人運営に関する勉強会	a 年1回 11月29日Web開催 常任理事2名・事務局長・STまいづる職員1名出席
⑪都道府県看護協会広報担当役員会議	a 年1回 11月12日Web開催 常任理事1名・総務課長補佐他2名出席
⑫都道府県ナースセンター事業 担当者会議	a 年1回 5月21日Web開催 常任理事1名・ナースセンター課長他1名出席
⑬会員情報管理情報交換会	a 年1回 10月4日Web開催 常任理事1名・総務課長補佐出席
⑭都道府県看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議	a 年1回 11月11日Web開催 常任理事1名出席
⑮病院看護管理者懇談会	a 年1回 開催なし
⑯都道府県看護協会災害看護担当者会議	a 年1回 12月16日Web開催 常任理事1名・事業課出席
⑰全国准看護師理事会	a 年1回 開催なし
⑱その他	・北海道・東北地区看護協会長連絡協議会 9月9日Web開催 会長出席 ・都道府県看護協会母子のための地域包括ケアシステム推進会議 9月8日Web開催 常任理事2名、保・助・看Ⅰ委員長出席 ・災害支援ナース派遣調整合同訓練 11月9～11日参加 ・全国看護基礎教育担当役員会議 11月5日Web開催 常任理事1名出席 ・認定看護管理者教育機関担当者会議 5月27日Web開催 常任理事1名、研修課長出席
(4) 他団体との連携	管理運営会議・事務局
3) 広報活動に関する事業【重点・6】	
(1) 県民、看護職及び会員への情報提供の充実	
①ホームページによる情報提供	a 看護関連情報及び看護協会の事業計画・活動状況の更新
②広報誌「山形いぶき」の編集と発行	a 年4回発行 (5月号7,800部 7月・11月・1月号8,600部) b マスコミ関係、公立図書館等への送付
③行政、関係団体と連携した広報活動	a 記者クラブへの投げ込み、ニュースリリースの発行 b 県高齢者支援課への介護福祉関係施設に対する情報発信の協力依頼 c 山形県老人保健施設協会、山形県老人福祉施設協議会との連携
④日本看護協会ニュースの活用	a 日本看護協会より毎月15日発行 b 日本看護協会へナースシップシステムでデータ変更 【評価】看護関連の最新情報をホームページや広報誌、メール等にて関係機関に情報発信を行った。いぶき5月号は100部増刷し、会員への情報提供の充実を図った。
4) 会館管理・運営に関する事業	
(1) 会館管理・運営に関する事項	
①資金計画の円滑な運用	a 会館維持管理費の適正運用 b 長期資金計画の見直し検討
②会館管理の運営	a 建物・駐車場の維持管理 受水槽配管修繕 b 施設利用状況把握 c 使用規程に関する検討
③機器類の管理	a 機器及び諸設備の整備・保守 研修費用コンビニ収納システム導入 b 機器類の貸出
(2) 施設の整備・保守・管理	
①施設の維持管理	a 法定保守点検 ア 電気設備 (毎月) イ 火災報知機 (年2回) ウ エレベーター (毎月) b 任意保守点検 ア 空調機 イ 自動ドア ウ AV機器 c 業務委託関係 ア 警備保障 イ 緑地帯の維持管理 ウ 館内外清掃

	エ 駐車場除雪（冬季必要時） オ 会計管理（消費税、法人税等の税務処理）
②「訪問看護会館」の維持管理	a 具体的な計画策定と実施
(3) 防災意識等の高揚 ①山形県看護協会での防災訓練等	a AEDを含む訓練実施（年1回） 3月実施
(4) 関係団体との連携 ①アルカディアソフトパーク山形クラブとの連携	a アルカディアソフトパーク内の一斉清掃、樹木の消毒、 清掃年2回（4月21日・10月14日実施） 消毒年1回（9月4日実施） その他親睦会等 中止
5) 渉外活動に関する事業	
(1) 看護についての諸問題の解決 ①国・山形県等への陳情	a 政策、要望等の陳情（看護関係予算、看護教育・継続教育の充実、看護職員の増員、看護制度等）
②山形県看護連盟との連携	a 合同会議の検討 10月1日開催 b 合同研修会の企画と実施 2月1日実施 参加者136名 c Zoomによる施設訪問・情報交換会 9施設
(2) 関係機関との協力と連携 ①関係機関・団体への参画	a 関係機関・団体等との連携、参加、名義後援 b 山形県健康福祉部との業務推進懇談会（再掲） c 山形県四師会との連携 d 諸会議への参加 e 諸施策審議会への参加
②行政への働きかけ	a 要望書の提出
6) 会員の相互扶助に関する事項	
(1) 会員の福利厚生等の推進 ①会員の福利厚生等のPR	a 表彰候補者の推薦並びに表彰 ア 日本看護協会会長表彰候補者を調査の上、2名推薦 イ 山形県看護協会看護功労者表彰及び感謝状贈呈候補者推薦 令和3年度看護功労者表彰2名、感謝状105名に贈呈 ウ 令和4年度山形県看護協会看護功労者表彰及び感謝状贈呈候補者推薦 b 規定による会員への見舞い ア 災害見舞、慶弔見舞 弔意：旧会員6名 c 家庭常備薬の斡旋 なし